

人ご久も化へはて
ふけり家様

火火の中よ
浪吉

飲百十ヤ
浪吉

ほい
浪吉

へき
浪吉

特啓

行路原稿 長塚節と松倉米吉
この以前に送らるる
歌十六首はやはり之と一
つに
又表紙可く
由はつきり
願上之矣
目録
刊行

後評と階第一日
とやくやうにお送り願
ハ日予れ間に居申す

浪吉

特啓

行路の原稿送つたに
是れは
のどすか
行路の規則書
た近
生
はもう
ふい

特啓

小生只今焼け出されて發行所に居り
ます。母と妹三人しくしました。
唐野君一家無事。アララギ在京同人
全部無事。印刷所焼けません。十一月号
出します。御慮ふんばつ願ひます。小生元氣
です。島本先生誼話にいま居られます。
戸塚君、早川君も無事です。中野君國へ歸
つてゐます。

特啓

行路原稿の
歌集

特復

未だ他の行路回つてゆきませぬか
そのうちおめしとあらうとおし
時森田君原稿を送つてくれませ
創刊号に同に居申す
ハ日予れ間に居申す